

# 令和元年度 自己評価結果報告書

NO.1

社会福祉法人 ゆりかご福祉会

幼保連携型認定こども園 ゆりかごWEC学院

令和 2 年 5 月 1 日

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
教育・保育理念	① 理念や基本方針を具現化して職員に周知しているか	5	7	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナウイルス感染症防止の為、自粛登園も2度あり、思うように計画が実施できず、教育テーマに基づいた事が実施できない。</li> <li>・職員が多くなると職員間の共通理解が難しいと思う。</li> <li>・共通理解を持つ事に難しさを感じる。「知らない、聞いてない」と聞くことが多々あり改善が必要。</li> </ul>
	② 理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、保護者に周知しているか	5	6	1	-	
	③ 理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか	7	5	-	-	
	④ 一人一人の子ども的人格を尊重した教育・保育について職員が共通の理解をもっているか	3	6	3	-	
	⑤ 年間教育・保育テーマに基づいてクラス別の特色を生かしているか	4	8	-	-	
教育保育の計画	① 社会情勢や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育・保育課程の見直しを行っているか	7	5	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン形式にしたり、お店屋さんごっこしたり、園内行事は工夫している。</li> <li>・人材確保が難しく採用ルートが乏しい。</li> <li>・本年度は、増改築工事もあり、行事等が縮小になった。</li> <li>・行事を通じてたくさんの体験があり、親子で楽しんでいるが土、日曜の行事が多く(父母の就労を考えて)保育教諭の働く体制からみて難しくなっている。</li> </ul>
	② 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了・卒園までの長期的な視野を持っているか五領域に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか	9	2	1	-	
	③ 子どもの体験が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	5	6	1	-	
子どもの発達援助	① 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	8	4	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスをまとめることが先行し、子ども一人一人に目が届いていない職員もいると思う。</li> <li>・増改築工事で危険な場所もあったが子ども達に注意を促し、人的、物的環境を周知できた。</li> <li>・就学相談は、早めに取り組んでいたため保護者との連携もとる事ができたのでこのまま続けて欲しい。</li> <li>・どのクラスも一生懸命に対応しているが、言葉かけがつい集団だと荒くなりがちなので、年齢に応じて優しく語りかける言葉の工夫が欲しい。</li> <li>・先生方が子ども一人一人の健康状態や家庭環境をしっかりと把握している為、とても安心している。</li> <li>・各クラス園児についての疾病の状況については、一覧表がリーダー向けに配布されているが、疾病や発達の現状について各クラスのリーダーに共通理解されていると良いと思う。</li> <li>・カリキュラムの時間内に伝えるには時間が足りないので行事予定、カリキュラムと分けて行った方が良いのでは?その際に疾病、発達面を入れて毎月共通理解を深めていけてら良いのではないかとと思う。</li> <li>・給食については、メニューを改善して欲しい。(味のバランス、アレルギー対応児除去食の工夫、成長と共にかわりを増やすなど考慮して欲しい。</li> <li>・誕生会の食事、配膳の工夫もあると子どもが喜ぶ。年間通して成長と共に量の調節をして欲しい。</li> </ul>
	② 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか	6	4	2	-	
	③ 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか	4	6	2	-	
	④ 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか	3	8	1	-	
	⑤ 健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備を留意する指導を行っているか	5	7	-	-	
	⑥ 子どもに相応し、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	2	3	7	-	
	⑦ 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	4	3	5	-	
	⑧ 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか	5	6	1	-	
	⑨ 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう信頼関係を築く援助に取り組んでいるか	3	5	4	-	
	⑩ 保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意しているか	3	8	1	-	
	⑪ 個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか	8	4	-	-	
	⑫ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行っているか	9	3	-	-	

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する—どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
保護者に対する支援助	① 子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会の場を設け、保護者との共通理解に努めているか	7	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな計画を通して子どもが成長していく過程を親に見せられないのが残念である。子どもにも力がついていかないと思う。(コロナウイルス防止の為)</li> <li>・先生方は、保護者の関りを考えながら支援していると感じる。</li> <li>・保護者にも理解が難しい時は、細かく指導している。</li> <li>・参観日に保護者会や講演会などを実施し、園の理解や発達面、健康面、子育てについての理解を深めていただきたい。</li> <li>・無償化についての説明会を開催したことは良かった。</li> </ul>
	② 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報告義務を行っているか	9	3	-	-	
	③ 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	7	5	-	-	
教育・保育を支える組織的基盤	① 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めているか	8	4	-	-	
	② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか	10	2	-	-	
	③ 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応を実施できるように整備しているか	7	4	1	-	
	④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか	9	3	-	-	
	⑤ 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか	7	5	-	-	
	⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを計画的に実施しているか	5	4	3	-	
	⑦ 事業計画が職員に周知されているか	1	8	3	-	
	⑧ 教育・保育の事業計画が利用者に周知されているか	5	6	1	-	
	⑨ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に守るように指導しているか	9	2	1	-	
	⑩ 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	9	3	-	-	
	⑪ 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	5	6	1	-	
⑫ 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	1	10	1	-		
⑬ 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られるように努めているか	3	9	-	-		
⑭ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか	1	10	1	-		

施設長評価：乳児から6歳までの子ども達を160名預かり、教育・保育を行っている。理想的な事を求めると限りないが、現時代の中、災害発生が多い、感染症が長引く、人材不足に悩むという環境は、私達の力ではどうする事も出来ない。私達は、保育・教育施設として、・専門職集団として子どもの安全、健康を守る・健全な家庭を育てる・保護者と共に育つそして、更に行事や活動を通して、子どもの発達や力を促進していき、次世代を生きる人財の芽を育てていく使命がある4と思っている。保育・教育内容や保育教諭の資質向上、人的配置、環境整備等、細かい面は多々あるが、時代が求めているもの、時代に流されず育てなければならないもの「不易と流行」の判断も大事な視点だと思っている。

創立47年目の伝統、歴史を経て、前理事長の考え方、言葉の重みを今更ながら心にしみる想いで取り組んでいる。